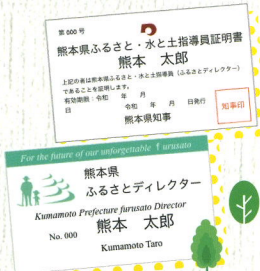


INVITATION

みなさんのふるさとを元気にする
 「ふるさと・水と土指導員（愛称：ふるさとディレクター）」
 になりませんか？

熊本県ふるさと・水と土指導員
 （ふるさとディレクター）とは？

中山間地域や棚田地域の農地の維持保全などに理解があり、熱意を持って地域活動をして下さる方を地域リーダーとして認定しています。令和3年（2021年）1月時点で県内に58名の「ふるさとディレクター」が活躍されています。



▲水と土指導員 認定証イメージ

指導員（ディレクター）のメリット

県では「ふるさと・水と土指導員」として活動いただく方々に以下のような支援を行なっています。

メリット 1 地域おこしへの「お墨付き」
 地域での合意形成や、他分野との連携を図るためには、相互の信頼関係が必要です。県や市町村が「お墨付き」を与えることで、地域おこし活動に必要な信頼関係の構築を応援します。

メリット 2 補助事業（補助金）が活用できる！
 中山間地域等において採用された地域住民活動等へ補助金を交付します。令和2年度（2020年度）は、指導員の方により11件の活動が実施されました。

メリット 3 県や国の研修への公費派遣
 全国で活躍するふるさと・水と土指導員の事例発表等を行う研修への派遣を行っています（県が旅費を負担）。また、県においても気軽に意見交換できる場を用意し、指導員間の交流を深めていただけます。



▲指導員の全国研修in東京



◀指導員交流会の様子

指導員（ディレクター）の活動例

- 1 子ども向け環境学習会の開催
- 2 休耕田を利用した農作業体験
- 3 集落周辺における景観作物の植栽
- 4 石積教室の開催
- 5 耕作放棄地対策及び特産品開発
- 6 都市農村交流活動、フットパス など



どうやったらなれるの？

ディレクターになるためには市町村長の推薦が必要です。活動地域の市町村の担当部署にご相談ください。
 ※その際に皆さんの地域でのご活躍等について、お尋ねすることがございます。

担当：熊本県 農林水産部 農村振興局 むらづくり課
 〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

Tel. 096-333-2416
 Fax. 096-385-5025

くまもとふるさと応援ねっと <http://furusato.pref.kumamoto.jp/>



人も里も、
 うつくしい熊本。

未来につなぐ
 ふるさと応援事業

これまでの未来につながるさと応援事業

「中山間地域」とは斜面がきつく、まとまった平坦な耕地が少ないため機械による効率的な農作業ができない地域です。

全国の農業産出額の約4割を占めており、私たちの食生活を中山間地域の農家さんたちが支えています。

それだけでなく、中山間地域の農業・農村が持つすばらしい景観や癒しの効果、降雨時に雨水を貯蓄する洪水防止機能などの多面的機能(※)は、「国民の大切な財産」となっています。

しかし、中山間地域における過疎化の進行(人材不足、少子高齢化や後継者不足等)の問題は深刻で、農業や農村を維持することが困難な状況です。

熊本県ではこれまで、「未来につながるさと応援事業」とおして中山間地域や棚田地域の農地を保全する活動や、土地改良施設等を活用した農業用水と地下水の関わりについての啓発活動などを応援してきました。

中山間地域がもつ多面的機能(※)

- ① 洪水を防ぐ機能
- ② 川の流れを安定させる機能
- ③ 地下水をつくる機能
- ④ 土の流出を防ぐ機能
- ⑤ 土砂崩れを防ぐ機能
- ⑥ 生きものすみかになる機能(生物多様性保全)
- ⑦ 農村の景観を保全する機能
- ⑧ 体験学習と教育機能
- ⑨ 暑さをやわらげる機能(気象緩和)
- ⑩ 文化を伝承する機能
- ⑪ 保健休養機能
- ⑫ 高齢者や障害者の機能回復に役立つ機能など

事業案内 1 子ども向け 体験交流活動を応援!



日頃体験することの少ない農業体験や、土地改良施設での見学・学習(水の大切さを学ぶなど)をおして農業への理解と食育教育に取り組むことができました。

事業案内 3 高齢者や障がい者の機能回復に役立つ 取り組みを応援!



農業をおして障がい者の子どもたちと触れ合い、耕作放棄地を利用し、障がい者の働く場所の提供及び地域農業者等と交流を行うなど農業と福祉が連携した取り組みを応援してきました。

事業案内 2 棚田地域を守る 取り組みを応援!



廃校を拠点とした都市住民との交流イベントや、棚田オーナーの方々と共に田植え体験などを行うことによって、農村の現状や遊休農地再生への取り組みを知ってもらうことができました。

事業案内 4 農家さんのお手伝い



農業体験や地元の人たちのふれあいなどを通じて中山間地域の農家さんを支援する援農活動を行うことができました。

事業案内 5 こんな調査をしました!

「農業と観光の連携調査」
中山間地域は、特徴的な農産物、美しい景観、郷土食、文化、自然など、数多くの地域資源(宝)に恵まれています。そこで、所得確保策の一つとして、地域資源を活かした観光商品化の方向を探るため、農業と観光が連携した観光商品の試行・結果分析を行いました。



▲九州山地から運ばれる美しい水

調査結果はこちら
<https://furusato.pref.kumamoto.jp/kiji00373/index.html>

「棚田地域での活動調査」
これまで県内の棚田地域で地域活動に取り組んでこられた方々の成果や課題等を調査すると同時に、より多くの人に熊本の棚田とそこで努力を重ねてきた人々を見ていただけるよう冊子にしました。



冊子閲覧はこちら
<https://furusato.pref.kumamoto.jp/kiji00375/index.html>



▲棚田PR冊子

事業案内 6 「棚田カード」「棚田めぐりガイド」を知っていますか?

農林水産省では、棚田地域を盛り上げ、保全に繋げる第一歩として、都道府県の担当者に呼びかけ棚田プロジェクトチームを立ち上げました。棚田地域をみんなで応援したいという想いから、棚田の持つ「魅力」と棚田で行われている保全活動の「実態」を知ってもらうため、また棚田を訪れるきっかけになることを願い、作成しました。

配布場所はこちら
<http://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/tanadani-koi.html>



▲棚田カード



▲棚田めぐりガイド



▲棚田めぐりMAP

事業案内 7 地域のイベントやグリーンツーリズム情報など発信しています!

熊本県の農山漁村地域のイベントやグリーンツーリズム情報、研修会や補助事業の募集など随時発信しています!週末どこに出かけようか悩まれている方、地域活動に組み込まれたい方など、ぜひご覧ください!



▲熊本県マスコットキャラクター「ダンダン」



▲くまもと農人ボランティアロゴ



▲「守るんジャー」



▲グリーンツーリズム



▲くまもと農泊ガイド

お知らせ

中山間地域サポート推進事業は令和2年度(2020年度)から「未来につながるさと応援事業」に変わりました。